

「まつやま」を知り、皆様と「まつやま」をつなぐ松山青年会議所マガジン

WAKATSEBAKI

2024年度スローガン

人生一度限られた時間も全てやる

わかつばき

2024
1・2月号

vol. 1

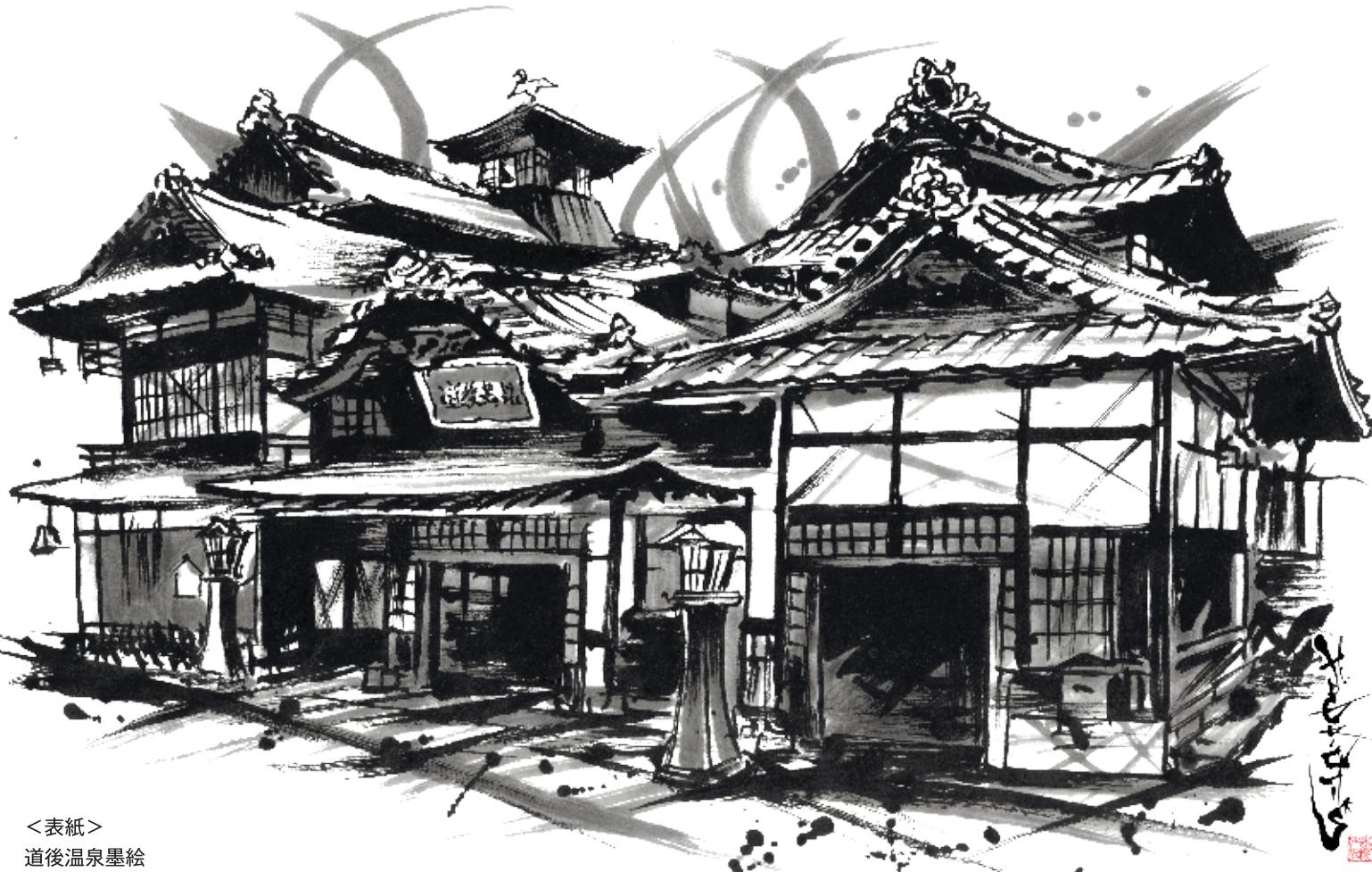
CONTENTS

愛媛県・松山市・東温市・伊予市・松前町・砥部町・久万高原町

新年のご挨拶

松山青年会議所2024年度体制のご紹介

3市3町の「祭」を紹介



<表紙>

道後温泉墨絵

茂本ヒデキチ画



100年経っても、“LOVEまつやま”

Junior Chamber International Matsuyama

公益社団法人 松山青年会議所

人生一度 限られた時間も 全てやる

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。平素より公益社団法人松山青年会議所の活動に対してご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症が過ぎ去り本来の日常を取り戻した2023年度は、松山青年会議所本来の活動を展開するとともに、地域の皆さまのご協力のもと中予圏域3市3町との連携をより強く深めさせていただく等、多くの成長と発展の機会をいただいた一年でした。2024年度の私たちはこれまで得た経験や関係性をさらに昇華させるべく、「人生

一度　限られた時間を　全てやる」というスローガンを掲げさせていただきます。誰にとっても一度しかない人生だから、40歳までの限られた時間の青年会議所だから、積極的に全ての事に対して向き合い、様々な事に挑戦していく一年としていきます。

また、社会の変化が急速に進む中で、私たち青年会議所に求められる運動の形も変わってきています。この地に根付き今年で72年目となる松山青年会議所の先輩方が築き上げてきた地域の皆さまからの信頼やこれまでの歴史をしっかりと学ばせていただくとともに、古き良き時代を踏襲しながらも、今の時代にあった形に変化させ想いを紡いでいきます。



結びとなりますが、本年は東洋の「十干十二支」の考え方では「甲辰」(きのえたつ)の年であり、60年に一度のスタート年と言われ、特に成功が期待できる縁起の良い年と言われています。私たちが住み暮らす魅力溢れる故郷の「ひと」と「まち」が輝き続ける未来に向けて、素晴らしいスタートの年となるようメンバー一丸となり邁進してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。2024年度が皆さんにとって、さらに笑顔溢れる幸せな一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひいたします。

公益社団法人
松山青年会議所
第72代理事長

三原 鉄平



年頭挨拶

令和6年の年頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

公益社団法人松山青年会議所におかれましては、「修練」、「奉仕」、「友情」の3信条の下、魅力あふれるまちづくりや子どもたちの健全育成に向けたさまざまな事業に精力的に取り組まれますとともに、昨年は4年ぶりの「松山春まつり」を開催され、地域に多くのぎわいをもたらしていただきなど、地域社会の活性化に多大な御貢献を賜っており、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類移行から7か月あまりが経過し、県内の人流や経済活動は回復を続けております。

県では、コロナ禍で休止を余儀なくされてきた松山空港国際線の再開と新規就航を目指し、現地でのトップセールスや観光PRなどに力を注いだ結果、国際線初のデイリー運航が実現したソウル線、4年ぶりの新規路線である釜山線の2路線で、過去最多となる週10往復が運航され、搭乗率も順調に推移しているほか、今年3月からは台北線も運航再開予定となっています。引き続き、交流人口の更なる拡大を図るべく、イン・アウト双方での利用促進に向けた助成事業やグランドハンドリング事業者への支援、将来の定期便化を見据えたベトナムチャーター便の運航などに取り組んでいるところです。

また、急速に進行する少子高齢化と人口減少は、地域経済やコミュニティ、社会基盤等の存続に深刻な影響をおよぼすことが懸念されており、こうした状況を打開するためには、結婚・出産・子育て支援を拡充し、若者をはじめ、誰にとっても魅力的で働きやすい環境の整備を進めることで、若年層の県内定着促進を図るとともに、大都市圏からのUIJターンの流れを加速させ、人口構造の若返りと出生数の反転増加につなげていくことが重要と考えています。

このため、県では、女性活躍や仕事と家庭の両立を推進する企業等を認証する、新たな「ひめボス宣言事業所認証制度」を昨年8月からスタートさせ、これまで150をこえる事業所から申請をいただいております。加えて、市町の子育て関連事業を強力にバックアップする県独自の「えひめ人口減少対策総合交付金」を今年度創設し、若年出産世帯に対する奨学金の返還支援や、多子世帯のリフォーム・引越し費用への助成等、地域の実情に応じたさまざまなメニューが実施されているほか、東京・大阪において全市町参加による移住フェアを開催するなど、「チーム愛媛」による重層的な施策展開を行っているところです。

どうか皆様方には、これらの取り組みに御理解をいただきますとともに、今後とも、持ち前の若さあふれる情熱と行動力で、本県の活性化と「愛顔(えがお)あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人松山青年会議所のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御活躍を祈念いたします。



愛媛県知事

中村 時広

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人松山青年会議所の皆様には、今年も希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から地域社会の発展に尽くされ、松山市政に格別の御理解と御協力をいただき、深く敬意を表します。

昨年は、共催で「松山春まつり」の大名武者行列が4年ぶりに実施され、多くの市民の皆さんに楽しんでいただきました。また、11月に「第39回まつやま市民シンポジウム」を開催し、「青年よ!松山で大志をいだけ~Youth, be ambitious! in Matsuyama~」をテーマに、未来の松山を担う若者と市内企業が、松山で働くことや暮らすことを共に考える機会を提供していただきました。心から感謝を申し上げます。

さて、松山市は人口減少対策を重要課題の一つに位置付け、魅力ある、選ばれるまちづくりを進めています。

そこで、少子化対策で令和5年4月に新しく「こども家庭部」を設け、出会いから結婚、妊娠、出産、育児などライフステージに応じた支援を充実させるとともに、12月には子ども医療費の無料化を満18歳の年度末まで拡大するなど、笑顔で子育てができるよう支援しています。

今年は、国の重要文化財である道後温泉本館改築130周年の節目を迎えます。松山の宝を、次の世代に大切に受け継いでいくため、平成31年1月から営業しながら保存修理工事を行い、当初の見込みよりも約半年早く、いよいよ7月11日に全館営業を再開します。地元の皆さんをはじめ、多くの関係者の御協力のおかげであり、お礼を申し上げます。

また、松山市駅前は、東西ロータリーなど本格的な工事が始まり、周辺商店街でファサード整備も実施されるほか、JR松山駅前周辺など、市内の交通結節点の整備を推し進めます。新しく生まれ変わった道後温泉本館とともに、新たなぎわいや魅力を創り出し、中心市街地を活性化し、観光誘客につなげます。

これからも「現地・現場」を大切に、「市民目線」を大切に、「より優しく より強い まつやまへ～一人でも多くの人を笑顔に～」を目指し、一所懸命取り組んでいきます。松山青年会議所の皆様には、まちづくりのパートナーとして、引き続きお力添えをお願いします。

結びに、公益社団法人松山青年会議所のますますの御発展と会員の皆様の御活躍をお祈りし、新年の挨拶とします。



松山市長

野志 克仁

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人松山青年会議所の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より産業振興・地域経済発展に御尽力を賜りますとともに、伊予市政各般にわたり、格別のお力添えを頂いておりまことに対し、この場をお借りいたしまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、以前の賑わいが少しずつ取り戻された一年でした。

特に2023ワールド・ベースボール・クラシックでは、日本中で大変盛り上がりました。3大会ぶり3回目の優勝という結果のほか、チームが一丸となって試合に臨む姿に感動し、勇気を与えられました。

こうした中、公益社団法人松山青年会議所様におかれましては、「わんぱく相撲まつやま場所」、「高校生英語スピーチコンテスト」、「料理で繋がる国際交流～クロスカルチャーダイニング～」など、地域活性化の為、事業に取り組んでいただき深く敬意を表します。

当市におきましても、昨年の11月18日～12月3日の間、道の駅ふたみで開催した、サッカー漫画「アオアシ」を題材とした展示会では、延べ4,842名と多くの方にお越しいただき、盛大に実施することができました。

また、令和6年1月には、IYO夢みらい館において第4回伊予市民ミュージカル「伊予組曲」が開催されます。市民の皆様が主役となって、歌・踊り・お芝居など、体や声を使って演劇します。

さて、愛媛県人口問題総合戦略推進会議によりますと、2060年には本市の人口は約半数の17,145人になるとの推計が出ております。人口減少問題は本市が乗り越えなければならない最も重要な課題であります。

そのような中、民間会社が発表した「いい部屋ネット街の幸福度ランキング2023」の四国版におきまして、愛媛県1位、四国2位という大変光栄な評価をいただきました。今後は、この結果を本物にすべく職員と一丸になって、産業の振興、観光振興施策の実施のほか、各地域の地域資源を通じた魅力発信を行い、市の将来像であります「3万人が住み続けられる伊予市」の実現へ向け、取り組んでまいります。皆様方におかれましては、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、地域経済にとって新しい成長の礎を築く実りある一年になることを期待いたしますとともに、公益社団法人松山青年会議所の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



伊予市長

武智 邦典

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人松山青年会議所の皆様におかれましては、令和6年の新春を迎え、希望に溢れる輝かしい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から地域との協働により社会の発展にご貢献いただき、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類に移行され、3年余り続いた様々な制約や行動制限等から解放され、コロナ過以前のイベントが開催されるなど、これまでの賑わいが徐々に戻ってきた1年となりました。

また、世界的なスポーツイベントが集中する1年であり、日本代表選手が世界の舞台で大活躍しました。3月開催の「2023ワールド・ベースボール・クラシック」では優勝し世界一を奪還、8月開催の「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」では、48年ぶりに自力でオリンピックの出場権を獲得するなど、日本中に勇気や感動、そして活力を与えてくれました。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の影響や歴史的な円安水準が長引く中、食料品をはじめ、ガソリン、灯油、電気代など生活必需品を中心に、あらゆる品目について物価高騰の動きが長期化するなど、市民の皆様の暮らしは依然として、大変厳しい状況に直面していると実感した年でもありました。

こうした中、本市では、地域経済を支えている中小零細企業の皆様が元気になるため、東温市中小零細企業振興基本条例に基づいた、様々な振興施策に取り組んでおりますが、昨年は「中小零細企業まるごと応援補助金」のメニューを見直し、人材育成とデジタル化促進への取り組みを補助メニューに追加するなど、事業者支援に努めたところです。

また、原油価格・物価高騰等により大きな影響を受けている市民の皆様や事業者の皆様を幅広く支援する取り組みとして、「とうおん温(あった)か子育て応援給付金」の支給や「省エネ家電への買替補助」等を実施してきましたが、本年は、生活者支援として、市民の皆様全員に、「とうおん温か生活応援商品券」も配布予定です。

今後も、社会経済情勢や人口減少の影響により、厳しい財政状況が続く中ではありますが、市民の皆様の健康と安全を第一としつつ、地域経済や雇用、市民生活を守るとともに、時代のニーズに柔軟に対応する施策を進めてまいります。

本年は、平成16年9月に東温市が誕生してから20周年の節目の年となります。この節目となる年を、本市の更なる発展を契機と捉え、次世代の子どもたちが希望を持てるよう「温か笑顔の東温市」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様の更なるご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、これまで率先し道をきり拓き、時代とともに変わりゆく地域社会の未来を見据え、その歩みを進めてこられた松山青年会議所のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



東温市長

加藤 章

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人松山青年会議所におかれましては、「古き良き時代を踏襲しながらも、今の時代にあった形に変化させ想いを紡いでいく」の基本理念の下、未来を見据え行動する青年育成や魅力あふれるまちづくりに向けた各種事業に尽力されるなど、地域社会の活性化に多大な御貢献を賜っており、厚くお礼申し上げます。

昨年の松前町長選挙において、町民の皆様の負託を受け、町政のかじ取り役を担わせていただくこととなりました。これから、皆様とともに、地域の発展に取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、長く続いたコロナ渦によく一区切りがつき、本町でも4年ぶりに「まさき町夏祭り」を開催するなど、地域社会が再始動する明るい兆しが見えた一年でありました。

現在、我が国の経済状況は緩やかに回復しているものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念により、依然として不透明な状況にあります。更に、地域に目を向けると、人口減少、出生率低下、担い手不足、防災対策など課題が山積しています。地域経済が将来にわたって発展していくためには、とりわけ喫緊の課題であります人口減少対策について、官民が協働で産業基盤の強化や交流人口の拡大など、実効性のある対策をスピーディーに講じていくことが重要です。

こうした中、松前町では、政策として打ち出した「圧倒的な子育て支援」、「高齢者にやさしいまちづくり」、「眞の教育の町」、「新産業・経済成長戦略」、「持続可能な町の基盤整備」の下、社会情勢や価値観の変化に対応しながら、「『希望が生きる』をかなえる新しいまさき」の実現にまい進して参ります。

さて、松前町は、享保の大飢饉の際、自らの命と引き換えに麦種を残し、多くの命を救った偉人“義農作兵衛”を輩出した町です。作兵衛翁の「自分のことよりも他者を思いやる心」は、“義農精神”として現代においてもなお私たち町民の心に受け継がれています。本町では、この“義農作兵衛”的顕彰と本町の全国的な知名度向上を目的に、全国で“義農精神”を体現した活動を行っている個人・団体を表彰する“義農大賞”を創設しており、令和6年4月に第2回表彰式を開催します。

大賞受賞者の活動を映像にして紹介し顕彰することで、全国の皆様に、人を思いやる心の大切さやその心を行動に移すことの素晴らしさを感じていただき、社会全体が明るく、思いやりのあるものになることを願っています。

終わりに、松山青年会議所の皆様には、引き続き、まちづくりのパートナーとして若さあふれる情熱と行動力で地域を元気にしていただくとともに、公益社団法人松山青年会議所のますますの御発展をお祈り申し上げ、新年の挨拶とします。



松前町長

田中 浩介

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人 松山青年会議所の皆様におかれましては、日頃より本町行政各般にわたり、深い御理解と御支援を賜りますとともに、松山圏域の振興・発展に御尽力いただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行され、長く続いたコロナ禍に一つの区切りが打たされました。社会経済活動に課せられた様々な制限が緩和、撤廃される中で、少しずつ地方においても賑わいを取り戻し、本町におきましても、春・秋の砥部焼まつりには多くの方々にご来場をいただきました。10月には、県下全域で「ねんりんピック・愛顔のえひめ2023」も開催されるなど、地域経済の再生に向けた追い風となったのではと感じております。

一方で、世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東でのテロを受けた緊張の高まりなど、情勢は引き続き混沌としており、原油高や物価高の上昇は円安と相まって、日本経済、ひいては我々の暮らしに大きな影を落としております。

即効性が求められる経済対策に加え、長期的に取り組むべき少子化・人口減少対策など、地方が取り組むべき課題は多様化しておりますが、日々ぐるしく変化する時代にあって、持続可能なまちづくりを推進していくためには、柔軟な思考と高い行動力を持つ若い人材を育てていくことが重要であり、つくづく「まちづくりはひとつづくり」であると思います。

そのような中で、本町では、来る令和6年度、町内唯一の高等学校である松山南高砥部分校の魅力化に取り組みます。魅力化の柱として、ゲームクリエーションコースの新設、全国募集による県外生徒の受け入れを支援し、次代に即応できる人材の育成を目指すことになりますが、そうした人材が地方に留まり、本町、松山圏域、そして“ふるさと愛媛”的发展に寄与できるような環境を整備するためには、我々行政のみならず、理想に燃え、地域の未来へ期待を共有し、明るい豊かな社会の実現を目指している貴会議所会員の皆様のご協力が不可欠であると考えております。

コロナ禍を経て、オンライン化やテレワークが進んだことで、既存の感覚に捉われず、働き方や居住環境を自由に選択できる時代となり、改めて地方が見直されております。穏やかな気候に恵まれ、利便性の高い都市部と豊かな自然が程良く共存する、本町を含む松山圏域の可能性を更に広げるためにも、皆様の御活躍が益々期待されておりますので、引き続き御支援賜りますようお願いします。

私事ですが、本年は町長として3期目の最終年度を迎えます。

これまでの施策を総括するとともに、新たな砥部町の未来を見据える年になってまいりますが、松山圏域の発展に向け、貴会議所が掲げる「古き良き時代を踏襲しながらも、今の時代にあった形に変化させ想いを紡いでいく」との基本理念を共有し、連携を深めていきたいと思っております。

最後に、貴会議所の更なる御発展と、本年が会員の皆様にとって素晴らしい1年となることを御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



砥部町長

佐川 秀紀

新年のご挨拶

初春のお慶びを申し上げます。

今年は「辰」の年。辰の字は「振るう」に由来しているとのこと。自然万物が振動し草木が成長し活力が旺盛になるといわれています。辰は龍のことでもあります。公益社団法人松山青年会議所の皆様におかれましては、『龍の如く』躍動され、松山圏域の活性化に本年も御活躍されますようお祈り申し上げます。

長く続いたコロナ禍が、昨年5月には新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが5類へ移行し、感染防止対策は行いつつも、アフターコロナという形で、平常を取り戻しつつあります。人気の観光地ではオーバーツーリズムの課題も浮き彫りになるなど、ようやく閉塞感漂う社会からは脱出できた感はありますが、国外ではロシアによるウクライナ侵攻は出口が見えず、イスラエルとパレスチナとの紛争、相次ぐ北朝鮮による無分別なミサイル発射と、きな臭さが増してまいりました。また、国内においては日本の国力維持に人口減少社会にどう歯止めをかけるか喫緊の課題となっていました。

ただいま、私共も急激な人口減少社会の荒波に翻弄されていますが、一方で追い風を感じています。コロナ禍をきっかけに、久万高原の澄んだ空気を胸いっぱい吸ってみたいと思われたのでしょうか、キャンプや散策にカルスト高原や面河渓谷にびっくりするくらい大勢の皆様にお越しいただきました。あらためて地域の宝であります、恵まれた自然環境の有難さを実感しました。

また、本町の基幹産業である林業の基の森林の持つ多面的な機能が評価をされています。特に昨今の地球規模での対応を迫られているカーボンニュートラルについては、温暖化の元凶といわれている二酸化炭素の吸収源としての役割に大きな期待が寄せられています。

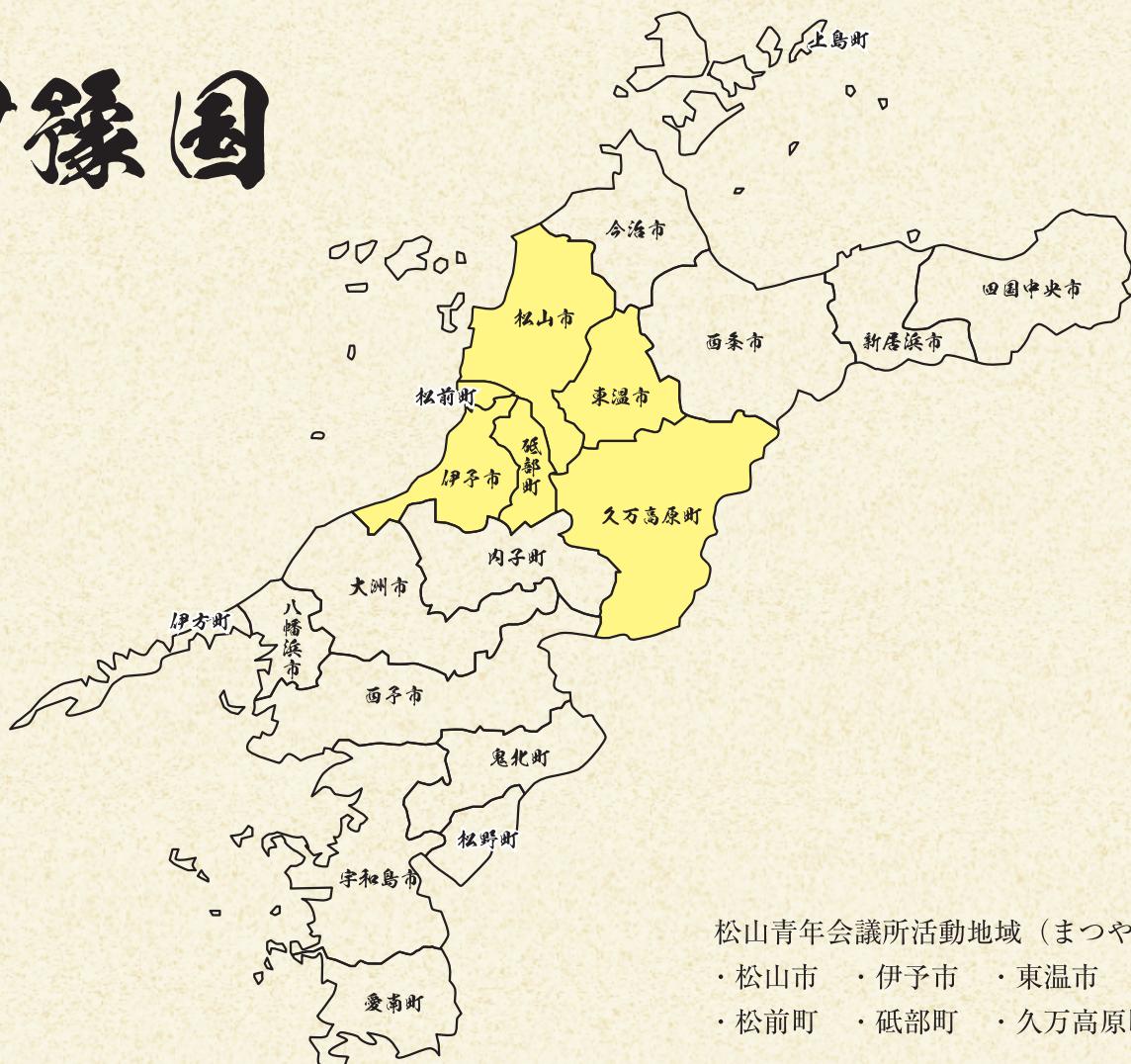
変わりゆく未来を展望し、地域活性化にその存在感を増していくJCIの皆様と協働し均衡ある国土の発展に一翼を担えるよう努力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

久万高原町長

河野 忠康



伊豫国



松山青年会議所活動地域（まつやま）

- ・松山市
- ・伊予市
- ・東温市
- ・松前町
- ・砥部町
- ・久万高原町

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。現役会員の皆さまにおかれましては、2024年の新しいスタートに際し、心より新年のお祝いを申しあげます。また、本年のLOM基本理念である「古き良き時代を踏襲しながらも、今の時代にあった形に変化させ想いを紡いでいく」という言葉には青年らしい素晴らしい想い、尊敬できる理念が詰まっていると感嘆をいたす所存です。

私たちの松山青年会議所シニアクラブは2023年の卒業生より20名の新会員をめでたく迎えることとなり、500名を超す503名の会員数で新年のスタートを迎えるました。早いもので、私がシニア幹事として松山青年会議所シニアクラブに関わりを初めてから、早くも12年の月日が流れています。長くもあり短いような月日でしたが、現役のJC活動というものが進化を遂げながら本年を迎えている一方、私たちシニアクラブも時代背景に順応しながら進化をし続けています。現役会員とシニアクラブメンバーとの交流というものをもっと活発に行いたく、毎月のシニア例会には是非とも、私たちシニアクラブメンバーとの懇親を深められるよう様々な工夫と取組をしてまいりますので、共に意義のある時間を過ごしていくと考えています。是非シニアクラブ例会にご参加ください。心よりお待ち申し上げています。

さて一方で、本年現役の皆さまには久しぶりの本会ファンクションである「第5回わんぱく相撲女子全国大会」を主管招致し、全国より様々なゲストをお迎えするにあたり、是非とも「一意専心」私たち松山青年会議所だからこそ、進めることができる素晴らしい全国大会の設えをお願いいたします。また、関係各所におかれましては是非とも倍旧のご支援、ご協力を賜りたくお願いをいたす所存です。そして、愛媛ブロック会員大会の松山の地での開催も決定しており、松山らしい誇らしい大会の開催とご成功をお祈りしています。

一方では、新型コロナ感染症の蔓延という、私たちが出会ったことがない「困難な時代」も過去の遺物と化している現在、JAYCEE活動をしたくても出来なった悔しい日々を過ごされた現役会員の皆さまには是非とも思う存分、三原理事長が指し示す青年会議所活動の神髄を見極めていただき、地域で最も頼られ、尊敬され、必要とされる団体としての輝きを放っていただきたいと願っています。

現役の皆さまには、JCだからこそ成し得る成功経験とJCに居たからこそ巡り合えた素晴らしい仲間たちとの深い絆が辰の如く昇華できるような意義ある1年をお過ごしになられますようご祈念を申しあげ、「松山青年会議所シニアクラブ」メンバーを代表致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

シニアクラブ会長
山本 修平



シニアクラブ
会長 2011年卒業
山本 修平



シニアクラブ
副会長 2011年卒業
丸山 武



シニアクラブ
副会長 2012年卒業
前崎 明



シニアクラブ
幹事長
2023年卒業
藤岡 忠



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
久保 洋平



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
田中 勝也



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
斎 明徳



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
松波 雄大



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
三井 保徳



シニアクラブ
幹事
2023年卒業
渡部 徹

審議委員	伊賀上 竜也	前崎 良二	秋山 浩一	白方 基進
	伊藤 真二	近藤 弘志	梶木 龍臣	黒田 尚樹
	門屋 光彦	大谷 泰祥	岩崎 雄輝	
監査役	鳥谷 紀興		武内 英治	
財政局長	兵頭 史		財政局次長	鈴木 航介
事務局長	松本 仁		事務局次長	横田 郁

公益社団法人松山青年会議所 2024年度 組織図



2024年1月1日 現在

まつやま

バフ
スポット

縁起開運・商売繁昌の神様
伊予路に春を呼ぶ

椿まつり

つばきまつり



神事
お忍びの神輿渡御

御鎮座（御創建）二千余年



「立春に近い上弦の月の初期」と月齢を定められているのが、当神社の春祭で一般的に、「椿まつり」「お椿さん」或いは「お八日(ようか)」と親しみを込めて呼ばれています。

現在は、旧暦正月8日を例祭日として、その前後の3日間斎行されていますが、従前は旧正月8日のみが斎行日であったので、古老達は現在も「お八日(ようか)」と称しています。

「立春に近い上弦の月の初期」は、丁度冬の厳しい寒さも峠を越し、物の芽が動き始める頃ですので、農閑期も終りを告げ、椿まつりの終了後には“田起し”“播種”を始める慣習が愛媛県をはじめ四国各地にあることから「伊予路に春を呼ぶまつり」として「椿まつり」を愛しく待ち焦がれていた様子が伺えます。現在では、全国各地から毎年約50万人の参詣者で境内は3日間賑わいますが、国道33号線交叉点から神社までの約1Kmの県道と平成15年に開通した「はなみづき通り」交叉点から神社まで約500mの県道は、全面交通遮断され、その県道両側に約800店の露店が立ち並ぶ状況は圧巻です。椿まつりは初日の午前0時に大太鼓で開始を告げられて以来、最終日の24時迄72時間昼夜を徹しての比類のないお祭りですが、生活時間が多岐に亘る現在、参拝者が年々増加傾向にあるのは「椿まつり」の時間帯が認識されているからでしょう。

「椿まつり」期間中の特別祈願祭は、「縁起開運」「商売繁昌」「大漁満足」を祈る人々が数多く見受けられますが、その昔の「椿まつり」は、祈りを捧げた後に大きな椿の樹の下で山村で採れた“山の幸”と“海の幸”つまり魚介類などをやりとりする物々交換の市と、情報交換をする場でもあったとの説話があります。

現在も「椿まつり」期間中は参道・境内ともに大変賑わいますが、通貨の流通のない頃の「椿まつり」に詣でる人々の様子が、今も昔も変わっていないのが「椿まつり」の歴史です。



参道も露店で
大賑わい！

伊豫豆比古命神社（椿神社）
〒790-0934 愛媛県松山市居相2丁目2-1
☎ 089-956-0321
<https://tubaki.or.jp/>

公益社団法人松山青年会議所 2024 年度委員会 事業計画 / 委員長所信



祭でまちを盛り立てる委員会

委員長 赤松 周

＜事業計画＞

- お城まつり実行委員会の運営
- 松山春まつり（お城まつり）の予算策定・決算報告
- 地域のまちを活性化させる取り組みの企画・運営・実施
- 12月例会の企画・運営・実施
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

私たちが取り組む運動からまつやまの歴史的背景と文化的意義が高く評価されるとともに、次々に見出されるまちのまちによって持続可能な未来を共に描き、永久続くこの運動の輪を繋げる仲間が増えてまちを盛り立てることで、いま以上のまつやまを実現します。

＜事業計画＞

- 国際交流の推進・強化する事業の企画・運営・実施
- 4月例会の企画・運営・実施
- 9月例会の企画・運営・実施
- 海外LOMとの姉妹JC締結に向けた調査・研究・実施
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

メンバー一人ひとりが国際意識を持ち、地域の魅力を再認識したJC I松山は、市民の皆さんと手を取り合って、地域の魅力をより世界に広げるとともに、多様な人や文化を受け入れ、持続可能な交流を生み出し、誰もが好きになるいま以上のまつやまを実現します。



国際交流委員会
委員長 繢木 崇浩



風紀委員会
委員長 重松 洋平

＜事業計画＞

- 総会及び諸会議の設営 ○公益社団法人に則した定款並びに諸規則及び諸規定の把握・変更・管理
- 例会セレモニーの企画・運営 ○風紀の年間推進の実施
- 創立記念式典並びに創立記念パーティーの企画・運営・実施 ○8月例会の企画・運営・実施
- 名刺及び名札の台紙のデザイン作成 ○会員名簿の作成と変更への対応
- 褒賞事業の企画・運営・実施 ○シニアクラブへの対応 ○坊ちゃん大使への対応
- 第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み ○政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

一人ひとりが諸先輩方の築き紡いできたJC I松山の伝統やしきたりを踏襲し、組織の秩序を保ちながら変化しつづける組織となったJC I松山は、まつやまの課題を解決するリーダーとして地域を牽引する信頼される団体となり、いま以上のまつやまを実現します。

＜事業計画＞

- 効果的かつ戦略的な広報計画の立案
- 6月例会の企画・運営・実施 ○1月例会の企画・運営・実施
- 広報誌「わかづばき」の制作編集・発刊・管理 ○公式ホームページの制作・運用
- 各種大会でのLOMナイト等の設営
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

展開する運動・事業そのものだけではなく、私たちの想いまでもがまつやまに住み暮らす皆さんに届き、認知度の向上と比例して組織のブランド価値が高めることができたJC I松山は、地域の皆さんからの強い信頼と共に感を生み、いま以上のまつやまを実現します。



広報渉外委員会
委員長 吉岡 和樹

公益社団法人松山青年会議所 2024 年度委員会 事業計画 / 委員長所信



福祉貢献推進委員会
委員長 山本 祐輔

<事業計画>

- 福祉に関する事業の企画・運営・実施 ○3月例会の企画・運営・実施
- 第37回わんぱく相撲まつやま場所の企画・運営・実施
- 第6回わんぱく相撲愛媛ブロック大会の参加 ○第39回わんぱく相撲全国大会の参加
- 第5回わんぱく相撲女子全国大会の参加
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

子どもたちがいきいきと住み暮らしやすいまちに向けて、親世代を中心に、地域の方々が協力し、主体的に行動する事によりよい解決に導き、このまちが魅力的で持続可能な地域コミュニティとなり、家族、仲間、皆が笑顔溢れる、いま以上のまつやまを実現します。



地域活性推進委員会
委員長 仙波 東拓



拡大育成委員会
委員長 太宰 正裕

<事業計画>

- 効果的な会員拡大推進活動の企画・運営・実施 ○2月例会の企画・運営・実施
- 正会員証授与式・新入会員入会式(10月例会)
- 新入会員カリキュラムの企画・運営・実施
- 会員育成カリキュラムの企画・運営・実施
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加 ○会員拡大に対する取り組み ○その他

会員の拡大と育成を協力一致して取り組んだ私たちは一人ひとりが志と熱い思いを持ち成長し、魅力溢れる人が相集い活気に満ちた組織へ変貌を遂げることで次世代を担う青年がJCに赴き、社会や地域により良い変化をもたらせ、いま以上のまつやまを実現します。



わんぱく相撲女子全国大会実行委員会
実行委員長 橋本 若菜

<事業計画>

- わんぱく相撲女子全国大会の企画・運営・実施
- 5月例会の企画・運営・実施
- 11月例会の企画・運営・実施
- 愛媛ブロック協議会第54回愛媛ブロック大会松山大会への取り組み
- 政策本位の選挙の実現に向けた事業の企画・運営・実施
- 日本青年会議所の会議・事業への参加
- 会員拡大に対する取り組み ○その他

各地青年会議所、行政や関係諸団体、地域の皆さんと連携し手を取り合い子どもたちの未来のために邁進する第5回わんぱく相撲女子全国大会での経験が次なる礎となりJC松山の士気高揚につながることで新しい歴史を紡ぎ、いま以上のまつやまを実現します。

応援し隊

令和5年度 第1回かがやき松山大賞 表彰式

スポーツや文化活動で全国大会優勝など
輝かしい成績を収めた個人・団体を表彰

松山市の**名声**を高め、
市民に希望と感動を与えた功績者

かがやき松山大賞表彰は、スポーツや文化分野などで市民に感動を与え、市の名声を高め、希望と活力ある社会づくりに貢献した個人または団体に表彰されるものです。令和5年度第1回表彰式では6人の若者が選出され、野志克仁市長から表彰されました。

#松山市 #かがやき松山大賞
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/shiminhyosho/kagayaki/index.html>



令和5年度 第1回表彰式

日 時 令和5年10月26日(木曜日)

場 所 松山市役所 本館3階 第1会議室

受賞者 矢野 晶子(やの あきこ)

第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会ショパンリストA部門 **金賞**

泉宗 心音(いずむね しおん) 愛媛県競技力向上対策本部

文部科学大臣杯 第60回全日本ボウリング選手権大会 **個人総合優勝**

泉宗 心音(いずむね しおん) 愛媛県ボウリング連盟

岩城 歩美(いわぎ あみ) 愛媛県ボウリング連盟

文部科学大臣杯 第60回全日本ボウリング選手権大会 **2人チーム戦優勝**

梶田 錬真(かじた れんま) 三津浜中学校2年生

第2回全日本UJフレッシュボクシング大会 兼 全日本UJ王座決定戦出場権争奪戦

男子36キログラム級A **優勝**

周藤 美月(すとう みつき) 新田高等学校2年生

フェンシングジュニア(U20) ワールドカップ女子サーブル団体 **3位**

令和5年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会 個人対抗 女子サーブル **優勝**

藤原 由奈(ふじわら ゆな) 愛アスリートクラブ

2023ジャパンパラ陸上競技大会 女子T20 800m **優勝**



クラージュ株式会社
Courage
Professional Sound
and... Lighting & Produce

映像・舞台・音響・照明・楽器・制作
店舗デザイン・WEB制作・広告デザイン

本社 〒791-8013 愛媛県松山市山越1丁目15-22
構内センター 〒791-8016 愛媛県松山市久万の台75-12



株式会社 雄伸工業

Tel 799-3104 伊予市上三谷甲3517番地
TEL 089-989-7350 FAX 089-989-7351

皆さんの声を
聞かせてください！

わかつかばきアンケートにご協力を！
二次元コードを読み取ってください



女子全国大会について

ジェンダー平等を推進

わんぱく相撲女子全国大会は2019年に創設されました。地域社会の形成とジェンダー平等政策を推進し、全国に普及する社会開発運動・社会教育として高く評価されています。

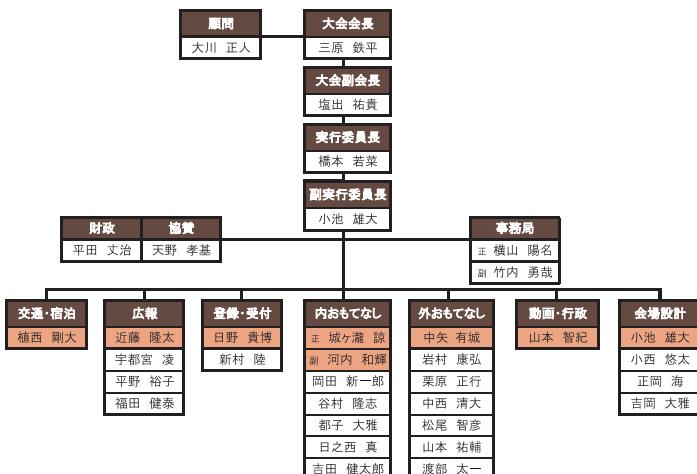
候補地選定プレゼン

松山開催をPR



審査の結果、松山開催が決定

わんぱく相撲女子全国大会 実行委員会を組織



大相撲松山場所を視察



全国からの来場者を十分に収容することが可能

全国大会オリエンテーション



JCI東京とJCI松山の実行委員会メンバー

過去の全国大会開催LOM顔合わせ



交流を深め、運営についての意見交換を行った

EHIME ORANGE VIKINGS

CREATE

EHIME ORANGE VIKINGS 2023-24 SEASON HOME GAME SCHEDULE

2023.10.23(土)・24(日)	2023.10.13(土)・14(日)
vs ライジングゼファー福岡 福岡市都心ココロナシティセンター	vs 山陽アライアンス 福岡市都心ココロナシティセンター
10.21(木)・22(金)	11.10(木)・11(金)
vs 熊本フォルターズ 熊本ドーム	vs 福島ファイザーホークス 福島県立野球場
11.17(木)・18(金)	11.25(木)・26(金)
vs アズティック千葉 千葉市花見川ココロナシティセンター	vs 函館アリーナ 函館市花見川ココロナシティセンター
12.9(土)・10(日)	12.20(土)
vs 青森ウツブ 青森市花見川ココロナシティセンター	vs ヘルツックス静岡 静岡市花見川ココロナシティセンター
12.22(水)・23(木)	2024.1.5(土)・6(日)
vs 神戸ストークス 神戸市花見川ココロナシティセンター	vs 福島レイクス 福島市花見川ココロナシティセンター
1.31(水)	2.9(土)・10(日)
vs 神戸ストークス 神戸市花見川ココロナシティセンター	vs パンサーシャク森魚 宇摩市花見川
2.16(水)・17(木)	3.8(土)・9(日)
vs 若狭ビッグブルズ 若狭市花見川ココロナシティセンター	vs 新潟アビレックス群馬 群馬県新潟市
3.29(水)・30(木)	4月開催
vs ライジングゼファー福岡 福岡市都心ココロナシティセンター	
vs ベルトックス静岡 静岡市花見川ココロナシティセンター	

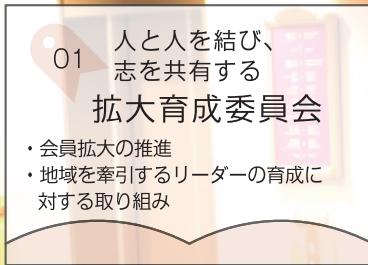
試合スケジュールについて
運営幹事会でご確認の上、
ご連絡ください。
料金・座席・購入方法
料金スケジュール

チケット情報について
運営幹事会でご確認の上、
ご連絡ください。
料金・座席・購入方法
料金スケジュール

お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

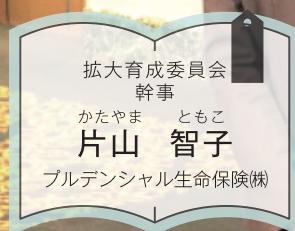
SNSでチェック!
田代
X
Instagram
Facebook
Twitter
@orangenvikings

お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

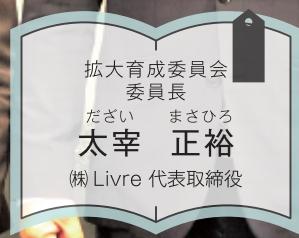


01 人と人を結び、志を共有する 拡大育成委員会

- ・会員拡大の推進
- ・地域を牽引するリーダーの育成に対する取り組み



拡大育成委員会
幹事
かたやま ともこ
片山 智子
ブルデンシャル生命保険(株)



拡大育成委員会
委員長
ださい まさひろ
太宰 正裕
(株)Livre 代表取締役



拡大育成委員会
副委員長
かん りょうへい
菅 亮平
(株)KREST 代表取締役

01 新入会員50名入会を目指して

「拡大」委員会と聞いて、イメージされるのは会員を増やすための活動だと思います。新入会員が入会した後、JCを理解できるよう新入会員カリキュラムを実施したり、JCへの理念共感をより高めることができるような事業を展開したりと拡大育成委員会の活動は多岐に渡ります。

コロナ禍が明け昨年度から再開されたT s u d o i を実施し、松山青年会議所に興味を持つ若者を呼んで、JC活動がどのようなものかを伝えます。T s u d o i は8グループで、各グループ様々な委員会メンバーで構成されているため、会員同士が委員会の垣根を越えて交流を行う場にもなっています。

当年度は「新規入会者50名」の目標を掲げており、その目標を達成するには皆さまのご協力が必要になります。ご協力の程、何卒よろしくお願ひいたします。



02 松山青年会議所入会の流れ

入会の流れ

入会案内

入会申込

入会面接

入会

入会資格

- 1.青年会議所の目的と意義に賛同し、自発的な意見と情熱を持っていること
- 2.原則として、満20歳以上40歳未満の入会した年を含め2年以上活躍できる品格ある青年であること
- 3.松山市およびその周辺に住所又は勤務先を有すること
- 4.健全な社会人としての教養と良識のある方で最低月1回開かれる例会と委員会に出席できること
- 5.国籍は問いません
- 6.松山青年会議所会員2名以上の推薦があること



あなたもお姫様や
城主となつて

松山の街を練り歩きませんか?...

令和6年4月7日(日)

松山まつり 行列

大名行列

参加者募集

令和6年
2月20日(火)
締め切り!!

今回は
親子で衣装を
身に着けて
行列に参加
できます!

■主催: お城まつり実行委員会

■共催: 松山市・公益社団法人松山青年会議所

■後援: 愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市教育委員会

「まつやまの未来を想う」まつとる犬
松山青年会議所公式キャラクター